

森田療法論

立命館大学大学院
応用人間科学研究科
対人援助学領域
人間形成・臨床教育クラスター
中村昌平

森田療法は、森田正馬(一八七四-一九三八)によって創始された、神経症にたいする日本独自の精神療法である。これまでの先行研究において、森田療法の中心概念である「あるがまま」は、反省作用を停止することによって、自分の感情を受け入れるという主客合一の状態として理解されてきた。しかし「あるがまま」には、そうした主客合一の側面ばかりでなく、反省作用によって、自分の感情を客観化するという主客分離の側面もみとめられる。本論文では、こうした二つの側面が、あるがままの状態においてみとめられるということについて考察し、主客合一の状態と主客分離の状態を自在に行き来することに「あるがまま」の本質があるということについて論じた。